

「加戸守行」さん前愛媛県知事(行年85才)の 安らかなるご永眠をお祈りします。

去る3月21日(土)に「骨髄異形成症候群」により、逝去されたとの報に接し、心から哀悼の意を表させて戴きます。



加戸知事の足跡



八幡浜市出身で、文部官僚を経て、平成11年1月に行われた知事選挙で「県民に開かれた県政の推進」を公約にして当選。「愛と心のネットワーク」を提唱し、助け合い支え合う心の重要性も政策で展開されました。

知事就任以来の特筆される取り組みは、「愛媛県武道館」を木造にこだわって建設。さらに大亀孝裕県体育協会会長と共に執念で取り組んだ「えひめ国体」の誘致。森林蘇生や環境保全への強い思いから「森林環境税の創設」と全国育樹祭の開

県議活動での私と知事とのやり取りを振り返って

私が加戸さんとお会いしたのは、平成11年4月の選挙で、県議会議員に当選させていただき、田中後援会長と共に知事室に挨拶に伺わせていただいたのが、最初でした。

私に加戸さんとお会いしたのは、平成11年4月の選挙で、県議会議員に当選させていただき、田中後援会長と共に知事室に挨拶に伺わせていただいたのが、最初でした。

催。「愛媛産には愛がある」のフレーズで愛媛のブランド産品の全国発信。強力なリーダーシップで県下の70の市町村を20市町までに「合併」を推進し実現しました。厳しい地方財政には「ゼロ予算で知恵を働かせ」とか、議員も含めお互いの給与カットの協力も求めました。その他、多くの政策や事業に「信念と気骨」で、何より「郷土のために」と、義理と人情を織り交ぜながら、情熱を込め取り組まれた足跡は、衆目の認めるどころです。

3期12年知事の引き際も、平成22年11月30日に2か月の任期を残して退任、理由は「来年度予算は新知事に委ねるのが良い」。正月明けの選挙は有権者の関心も低くなる」とのこと、まさに加戸流の最後でした。

知事を勇退後も、県や国の健全な社会づくりのため、特に「憲法改正」に思いを込めて取り組み、私たちに檄をもって指導をいただいていたところでした。

私が加戸さんとお会いしたのは、平成11年4月の選挙で、県議会議員に当選させていただき、田中後援会長と共に知事室に挨拶に伺わせていただいたのが、最初でした。

早速、「当選祝いです」と、西条市が計画していた街の基幹道路「古川玉津橋線」を『県営壬生川新居浜野田線』の一部として取り組み完成させてくれました(平成19年開通、総工費29億円)。また、知事が強力に推し進めた「合併」で、新「西条市」が平成16年11月1日スタートしましたが、そのお祝いにと「東予有料道路」を計画より2年前倒しで無料開放も決断いただきました。(平成18年3月議会で明比議員の質問に答弁)。そんな人間味のある政治決断も「加戸流」として心掛けてくれました。

その他、各般の地元課題や県政課題に真正面から受け止めていただき取り組ませていただきました。県議会での質問のやり取りの詳しくは、私のホームページをご覧ください。尚、今後会報にても回顧記事掲載を考えています。

ただ「松山分水」問題については、貴重な地域の資源であり、地域でしっかり守るとの私の立場は譲れず、松山のためにもこの思いのある加戸知事とは、思いの違いが、厳しいやり取りも致しました。今は、松山への分水問題は終局し、当初の目的通り、県営の「工業用水道事業」の経営の健全化に努め、地域の水資源は活用されています。

「元氣な愛媛」の創造のためとの共通理念で色々一緒に取り組め、議会での討議の中でも、多くの故事を引用し、名言も残しご指導いただいたことは、かけがえのない思い出でもあります。

令和2年度 6月追加補正予算②での主な取組み

国の第2次補正予算(6月12日予算成立)を受け、会期内に追加提案されました。

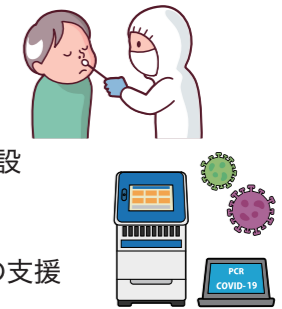
- ◆一般会計補正予算額 **284億3,810万円** (累計7,338億4,073万円)
- ◆企業会計補正予算額 **1億2,582万円** (累計726億2,361万円)

新型コロナ対応予算の総額 **794億円** R元年度 R2年度 5億円 789億円 となる。

1 感染拡大と医療崩壊を防ぐ

241億5,985万円

- 医療機関等への全自動PCR検査装置の導入や入院病床の確保
- 県立病院への全自動PCR検査装置等の導入・整備《病院事業会計》
- 検査を希望する妊産婦に対する分娩前PCR検査の実施
- 重点医療機関における中等症患者の受入病床の確保
- 専門家等による感染症対策専門チーム(えひめクラスター対策班)の創設
- 医療従事者や介護・障害福祉サービス従事者等への慰労金の支給
- 医療提供体制を維持するための医療機関等の感染症対策への支援
- サービス提供体制を維持するための各種福祉施設の感染症対策等への支援
- 介護・障害福祉施設の職員負担軽減のためのICT機器等の導入支援
- 病院での実習中止を補完するための看護師養成施設へのシミュレーターの導入支援



2 地域経済を立て直す

31億7,155万円

(1) 大胆な消費喚起策の実行と経営基盤の強化 …… 6億8,045万円

- 県民向けや県外観光客向けの宿泊旅行代金への割引支援(9.5万人泊追加)
- 5Gを活用した「ロードムービー」アプリによるしまなみエリアへのサイクリスト誘客の促進
- グリーン・ツーリズムにおける農業体験などの利用料金への割引支援
- 国の肉用牛肥育経営安定対策(牛マルキン)への県単独の上乗せ助成

(2) 雇用・生活維持のための支援 …… 24億9,110万円

- 労働需要の不均衡解消に向けた企業間の出向契約のマッチング支援
- 国の雇用調整助成金の支給上限額引上げに伴う県独自助成の拡充
- 生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付
- ひとり親世帯に対する臨時特別給付金の支給



3 新しい生活・ビジネス・文化のスタイルを実践する 12億3,252万円

(1) 新しい生活様式への転換促進 …… 8億4,076万円

- 新型コロナを前提とした中小企業者の非接触型ビジネス展開への支援
- 理美容・鍼灸整体院など接触不可避な業種におけるガイドライン対応への支援
- 事業者のための特別相談窓口(コールセンター)の運営継続
- 車両数の増加や車両の大型化など3密回避に取り組む貸切バス事業者への支援
- 公共交通機関と自転車の併用に向けたE-BIKEによる自転車通勤の促進
- 配偶者暴力相談支援センターや警察業務における感染防止対策の強化



(2) 学習支援の充実 …… 3億9,176万円

- 県立学校や専門学校への遠隔授業用ICT機器や換気対策用機器等の整備
- 県立・私立学校への児童生徒の学習支援等を行う支援員の配置
- 密集状態を緩和するための特別支援学校スクールバスの増便期間の延長
- 県立・私立高校等の要保護児童生徒等へのオンライン学習のための通信費の補助
- 家計急変世帯に対して私立学校が行う授業料減免に対する支援
- 開催中止となった高校総体や高校野球大会等の代替大会の運営支援

県民の命と生活、そして事業と雇用を守り抜く。
新型コロナウイルス「緊急対策」を強力に推進します。

